

※ 公団が実施する健康診断は2年に1回受けることができます。
2回以上検診を受けた場合、検診費用を受検者にご請求させていただきます。

※ 検診機関は公団ホームページ
(www.nhis.or.kr)または支店(全国
共通1577-1000)にてご確認ください。

住所印刷部分

健康診断票の代替用です。

----- 結果通知書の発送住所として活用されますので、切り取らないでください。 -----

年度医療給与生涯転換期検診確認書(検診機関提示用)

氏 名		住民登録番号	-1(2)*****					
検査項目・費用								
医療給与 生涯転換期 検診		診察及び相談、視力・聴力検査、年齢別検査項目の実施 ※ 検診実施期間： _____.12.31日まで						
がん検診	区分	胃がん	肝臓がん (上半期)	肝臓がん (下半期)	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	肺がん
	対象/費用 ^{注1)}							
	医療費支援							-
	検診実施期間	_____.12.31.まで。但し、胃がん・大腸がんの2段階検診は翌年度の1.31.まで 肝臓がんは年2回実施： 上半期(6月30日まで)と下半期(12月31日まで)に各1回						
以上のように、____年度健康診断対象者であることを確認します。								
○○保健所 保健所長								
* 年齢別検査項目								
① 認知機能障害: 満66歳以上、2年に1回(66・68・70...) ② 精神健康検査: 満70歳								
③ 高齢者身体機能: 満66、70、80歳 ④ 生活習慣評価: 満70歳 ⑤ 骨粗鬆症: 満66歳の女性								

注1) 費用負担表記

① 本人負担無し: 国が全額負担

② 非対象: 該当項目の検診対象者でない者。

③ 受診完了: 該当検診の受診をすでに完了した者。

④ 医療費支援対象は国家がん検診対象者で、検診により今年度のがん患者だと新規確認された場合、医療費の一部を支援してもらえる。ただし、肺がん患者には国家がん検診受検の有無によらず医療費が支援される。

※ がん検診年齢基準: 胃がん(満40歳以上)・乳がん(満40歳以上の女性)、大腸がん(満50歳以上)、肝臓がん(肝臓がん発症高危険群のうち満40歳以上)、子宮頸がん(満20歳以上の女性)、肺がん(肺がん発症高危険群のうち満54～74歳)

※ がん算定特例者または大腸内視鏡検査から5年が経過していない受検者は、当該がん検診の猶予ができます。

※ 国民健康保険公団(www.nhis.or.kr)にて検診対象者、検診施設、年度別検診結果などを確認することができます。

※ 康診断の8時間以上前から絶食しなかったり、夜間勤務をしたり、女性の生理期間中に検診を受けると正確な検診結果が得られない場合がありますので、必ず健康診断の遵守事項を守った状態で検診を受けてください。